

第6回 県有施設・県出資団体等調査特別委員会資料

公の施設等について
～個別施設の現状と課題、その対応方針～

生涯学習センター（水戸、県北、鹿行、県南、県西）（教育庁）

令和6年2月13日（火）

○施設名 生涯学習センター（水戸、県北、鹿行、県南、県西）

1 現状

(1) 施設の概要

- 生涯学習センターは、生涯学習に関する情報、学習機会及び学習の場の提供、調査研究等を行い、県民の生涯にわたる学習活動の推進に資することを目的に設置した施設である。
- また、教育事務所単位の広域的な地域をカバーする必要性から、県内に5つの生涯学習センターを整備している。
- 地域課題解決のための人材・団体の育成の推進、現代的課題に資する学習機会の提供、ボランティアの育成など、地域の特色を生かした事業や地域の課題解決に資する事業などを実施している。

施設名	水戸生涯学習センター	県北生涯学習センター	鹿行生涯学習センター	県南生涯学習センター	県西生涯学習センター
所在地	水戸市三の丸1-5-38 (県三の丸庁舎内)	日立市十王町友部 2581 (日立市役所十王支所内)	行方市宇崎 1389	土浦市大和町9-1 (ウララビル内)	筑西市野殿 1371
開業年月	平成5年4月 (現在地移転:平成26年)	平成18年8月	平成9年4月	平成9年10月	平成6年11月
施設概要	施設敷地 9,429.95 m ² 延床面積 736.59 m ² ・SRC造3階建	施設敷地 10,056.49 m ² 延床面積 2,556.11 m ² ・SRC造3階建	施設敷地 14,219 m ² 延床面積 6,956.67 m ² ・SRC造4階建	施設敷地 5,201 m ² 延床面積 5,200.8 m ² ・RC造6階建	施設敷地 20,523 m ² 延床面積 4,039 m ² ・SRC造2階建
設置理由	茨城県生涯学習推進会議（昭和62年10月）、茨城県生涯学習推進協議会（平成2年3月）の提言に基づき設置				
定員	182人	420人	1,039人	951人	721人
主な施設 (定員/人)	大講座室 (104) 中講座室 (48) 小講座室 (30)	中講座室 (45) × 3 小講座室 (18) × 5 和室講座室 × 2 レッスン室、創作室 パソコン室 多目的ホール (100)	大研修室 (144) 中研修室 (36) × 2 小研修室 (24) × 2 音楽視聴覚室、美術工芸室、トレーニング室、和室研修室、特別会議室、団体交流室、講座室、多目的ホール・控室 (308) 宿泊室	中講座室 (100) 小講座室 (54) 和室講座室、創作室、音楽室、軽運動室 多目的ホール・ホール控室 (468)	中講座室 (80) × 4 小講座室 (45) × 8 レッスン室、和室研修室、創作室、会議室、レッスン室、多目的ホール・ホール控室 (300)

施設名	水戸生涯学習センター	県北生涯学習センター	鹿行生涯学習センター	県南生涯学習センター	県西生涯学習センター
利用料金 (単位：円) ※全日利用 一般の場合	大講座室 13,870 中講座室 10,070 小講座室 7,710	小講座室 4,440～ 中講座室 11,900～ 和室講座室 3,120～ 多目的ホール 18,460	大研修室 13,940 中研修室 5,810 小研修室 5,020 宿泊（1泊素泊）2,060 多目的ホール 28,030	小講座室 3,260～ 中講座室 10,030～ 和室講座室 3,440～ 多目的ホール 38,450	中講座室 16,520 小講座室 8,570 多目的ホール 21,860

(2) 管理手法 ※令和5年7月1日時点

- 5つの生涯学習センターは、指定管理者制度を導入しており、現在の指定管理期間は令和3年度から令和7年度の5年間である。

施設名	水戸生涯学習センター	県北生涯学習センター	鹿行生涯学習センター	県南生涯学習センター	県西生涯学習センター
指定管理者	公益財団法人茨城県教育財団	特定非営利活動法人インパクト	公益財団法人茨城県教育財団	特定非営利活動法人ひと・まちなつとわーく	特定非営利活動法人日本スポーツ振興協会
指定管理期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日（5年間）				
従事者数	15人（常勤14人、非常勤1人）	11人（常勤9人、非常勤2人）	16人（常勤5人、非常勤11人）	14人（常勤10人、非常勤4人）	17人（常勤9人、非常勤8人）

(3) 利用状況

- 利用者数は、平成 21 年度をピークに減少傾向にあり、令和 4 年度はピーク時の約 38% となっている。
 - ・ 水戸は平成 25 年 2 月から愛宕町から三の丸庁舎に移転したことにより、講座室が減少 (17→3)
 - ・ 県南は平成 26 年から平成 27 年 9 月まで、土浦市との共用部分の工事により講座室を閉鎖
 - ・ 令和 2 年度から 3 年度にかけて、コロナ禍の影響を受け、講座室の定員を半数に制限
 - ・ 令和 3 年度からの指定管理期間にあたり、事業を見直し (現代的・地域課題に特化した事業にシフト：講座数の減、講演会の廃止、提案事業の廃止等)

【利用者数の推移】

(単位：人)

年度	H21 (ピーク)	H26	H27	H28	H29	H30	R 1	R 2	R 3	R 4	R 4 /ピーク
5 施設合計	791,428	398,732	495,733	522,298	534,614	541,873	455,100	186,522	211,873	298,454	37.7%
水戸	153,372	46,190	53,772	55,963	55,023	54,233	43,909	14,696	12,597	18,845	12.3%
県北	81,917	62,405	67,083	65,548	59,968	64,014	52,304	33,981	32,752	42,879	52.3%
鹿行	56,022	86,566	95,153	74,050	89,337	104,594	84,493	36,060	45,094	53,218	*50.9%
県南	321,998	33,586	110,798	156,625	160,021	148,502	152,430	49,366	54,821	83,345	25.9%
県西	178,119	169,985	168,927	170,112	170,265	170,530	121,964	52,419	66,609	100,167	56.2%

*鹿行は H30/ピークで算出

(4) 経営状況

- 利用料収入については、令和2年度から3年度にかけて、コロナ禍の影響を受け、利用者数の減少に伴い減少したが、平均で30,000千円程度を維持している。
- 令和3年度からの指定管理期間にあたり、事業の見直し（現代的・地域課題に特化した事業にシフト：講座数の減、講演会の廃止、提案事業の廃止等）を行ったことにより、指定管理料を削減。

【収支の推移】（5センター計）

（単位：千円）

年度	歳入計 (A)				歳出計 (B)				収支 (A-B)	【参考】 県実施の 修繕費
	指定管理料	利用料収入	その他 (事業収入)	人件費	維持管理費	その他 (事業費)				
H26	673,353	586,775	27,055	59,523	633,682	256,105	280,033	97,544	39,671	-
H27	698,511	612,040	33,266	53,205	665,940	278,262	278,151	109,527	32,571	-
H28	698,031	628,632	33,957	35,442	667,798	261,703	283,854	122,241	30,233	80,974
H29	714,059	639,197	35,269	39,593	679,249	265,500	285,818	127,931	34,810	36,903
H30	709,257	631,518	35,829	41,910	673,660	255,657	285,268	132,735	35,597	11,416
R 1	707,785	629,806	33,822	44,157	683,072	265,527	293,921	123,624	24,713	17,754
R 2	665,285	611,987	16,805	36,493	642,709	263,897	270,645	108,167	22,576	-
R 3	597,948	537,877	19,897	40,174	571,484	267,150	216,387	87,947	26,464	17,380
R 4	622,342	538,526	30,722	53,094	610,986	280,380	227,317	103,289	11,356	-
平均	676,286	601,818	29,625	44,843	647,620	266,020	269,044	112,556	28,666	18,270

【大規模修繕の推移】（10,000千円以上）

- 長期保全計画に基づき、鹿行・県西を中心に、経年劣化により機能が低下した建物の改修や電気設備等の更新などを行っている。
- 今後も老朽化の進行による工事費の増加が想定されることから、計画的な修繕が必要。

（単位：千円）

年度	修繕実績額	修繕内容
H26	-	-
H27	-	-
H28	80,974	宿泊室他改修工事（55,609）、ホール棟防水工事（14,894）、蓄電池施設改修工事（10,471）（鹿行）
H29	36,903	本館外壁改修工事（鹿行）
H30	11,416	空調設備設置工事（鹿行）
R1	17,754	給湯・暖房用ボイラー更新工事（鹿行）
R2	-	-
R3	17,380	本館エレベーター長寿命化改修工事（鹿行）
R4	-	-
計	164,427	

(5) 周辺エリアの動向、他県の類似施設の状況

〔周辺エリアの動向、本県の類似施設の状況〕

- 水戸生涯学習センターの近隣には、NHK文化センターをはじめ、民間事業者による学習機会の提供が行われている。
- また、県内8つの市町に12の生涯学習センターが設置されているが、学習機会の提供を実施していることが多く、県のような地域課題解決のための人材・団体の育成などの事業の実施は一部に限られている。

〔他県の類似施設の状況〕

- 生涯学習センターを有するのは33道県。このうち、4県（茨城県を含む）において本県同様に複数のセンターを設置。
- 近県では9県中7県が県教育委員会による直営（その他、指定管理、業務委託契約による運営）

＜近県の県生涯学習センターの状況＞

	埼玉県	山梨県	その他
施設名	埼玉県県民活動総合センター	山梨県生涯学習推進センター	【県直営】 ・栃木 ・千葉 ・神奈川 ・群馬 ・新潟 ・長野 ・静岡
所在地	埼玉県北足立郡伊奈町内宿台6-26	山梨県甲府市丸の内1-6-1 防災新館1階	
指定管理者	公益財団法人 いきいき埼玉	公益財団法人やまなし文化学習協会	
年間指定管理料	312,381千円（令和4年度）	40,962千円（令和5年度）	
指定管理期間	令和元年度～令和5年度（5年間）	業務委託契約（1年間）	
従事者	39人（常勤30人、非常勤9人）	6名	

※埼玉県：県民活動総合センター（所管・県民生活部）

(6) 議会からの提言

- 令和3年度の変革期をリードする新時代の茨城づくり調査特別委員会において、「これからの時代は、協働が1つの大きなキーワードになってくる。それを支える上で、生涯学習は非常に大事な観点であり、生涯学習センターでしっかりと人材の育成を行う必要がある。」との提言を受け、現代的・地域的課題を解決していくために、地域の核となる人材・団体の育成を図る事業を各生涯学習センターで実施している。

2 課題

- 令和3年度から、現代的・地域課題に特化した事業を展開しており、引き続き、現在の事業を深化させつつ、生涯学習センターが地域の活動拠点として社会教育人材と地域社会の担い手の育成に大きな役割を果たすことが求められる。
- 施設により維持管理コストに差があることから、各地域での生涯学習提供機能は維持しつつ、効率的・適正な運営により、コスト縮減を図る必要がある。

3 対応方針

現所有者	今後、想定される所有者	今後の取組方針（案）	該当の有無
県	県	現行の管理手法での施設運営の合理化など	○
		民間活力の導入による運営改善（施設リニューアル、P-PFI等）	
	市町村	譲渡・譲与	
	民間	譲渡	
	—	廃止・休止	

【方針】

- 現行の管理手法を継続し、引き続き、地域の活動拠点として社会教育人材と地域社会の担い手の育成に取り組んでいくとともに、更なる利活用促進に向けて情報発信を行っていく。併せて、効率的・適正な運営によりコスト縮減を図る。

【理由】

- 県民の生涯にわたる学習活動を推進するとともに、現代的・地域課題解決に資する事業を通じ、地域課題に自発的に取り組む人財の育成や地域の活動拠点として一定の成果を挙げてきており、引き続き施設を存続させる必要がある。

公の施設等に係る運営評価等調書

施設名	水戸生涯学習センター	所管課	教育庁総務企画部生涯学習課
-----	------------	-----	---------------

1 施設概要

所在地	水戸市三の丸1-5-38	整備年月	平成5年4月
設置の根拠法令等	学校以外の教育機関の設置、管理及び職員に関する条例		
設置目的	生涯学習に関する情報、学習機会及び学習の場の提供、調査研究等を行い、県民の生涯にわたる学習活動の推進に資すること		
事業内容	生涯学習の推進に必要な事業（1）学習情報の提供（2）学習機会の提供（3）学習活動の場の提供（4）生涯学習の相談（5）上記のほか生涯学習の推進に必要な事業		
施設内容	大講座室、中講座室、小講座室、分館、会議室		

2 管理者

(令和5年7月1日現在)

管理区分	指定管理	管理者名	公益財団法人茨城県教育財団
体制	15人 内訳 常勤職員	14人、非常勤職員	1人

3 利用状況

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数(人)	目標値	42,000	42,500	43,000	20,000	31,000
	実績	54,233	43,909	14,696	12,597	18,845

4 施設運営に係る事業費

(千円)

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入	指定管理料	115,826	115,826	111,604	90,680	90,680
	使用料収入	1,501	1,187	1,060	747	1,284
	その他	2,639	5,192	3,472	2,420	3,137
	合計①	119,966	122,205	116,136	93,847	95,101
支出	人件費	52,525	60,899	68,359	68,510	66,446
	管理運営費	32,652	35,872	31,796	15,194	17,582
	その他	22,857	18,802	17,518	8,907	11,474
	合計②	108,034	115,573	117,673	92,611	95,502
収支(①-②)		11,932	6,632	△1,537	1,236	△401

(千円)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
大規模修繕費	-	-	-	-	-

※10,000千円以上の修繕費

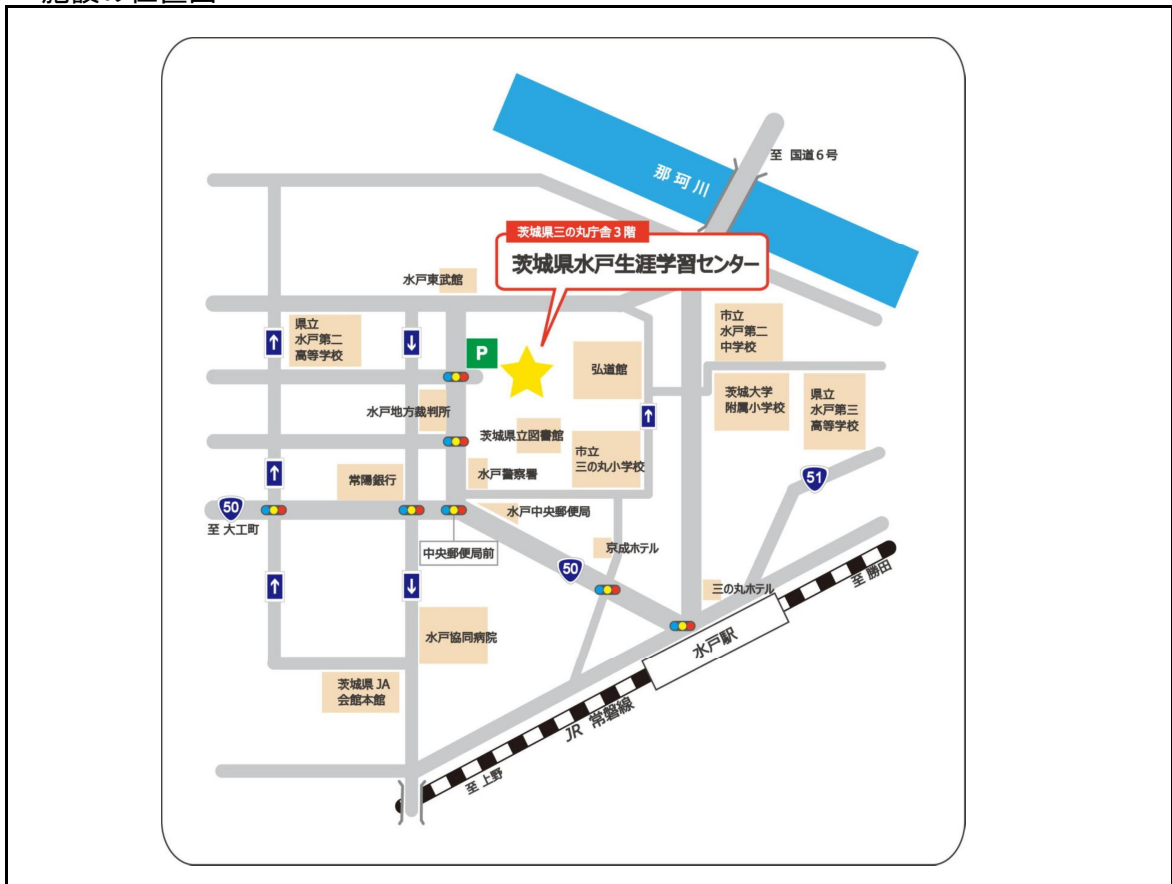
5 運営上の課題と対応

課題	対応
<p>○令和3年度から、現代的・地域課題に特化した事業を展開しており、引き続き、現在の事業を深化させつつ、生涯学習センターが地域の活動拠点として社会教育人材と地域社会の担い手の育成に大きな役割を果たすことが求められる。</p> <p>○施設により維持管理コストに差があることから、各地域での生涯学習提供機能は維持しつつ、効率的・適正な運営により、コスト縮減を図る必要がある。</p>	<p>○現行の管理手法での施設運営により合理化を図る。</p> <p>○県民の生涯にわたる学習活動を推進するとともに、現代的・地域課題解決に資する事業を通じ、地域課題に自発的に取り組む人材の育成や地域の活動拠点として一定の成果を挙げてきており、効率的・適正な運営によりコスト縮減を図る。</p>

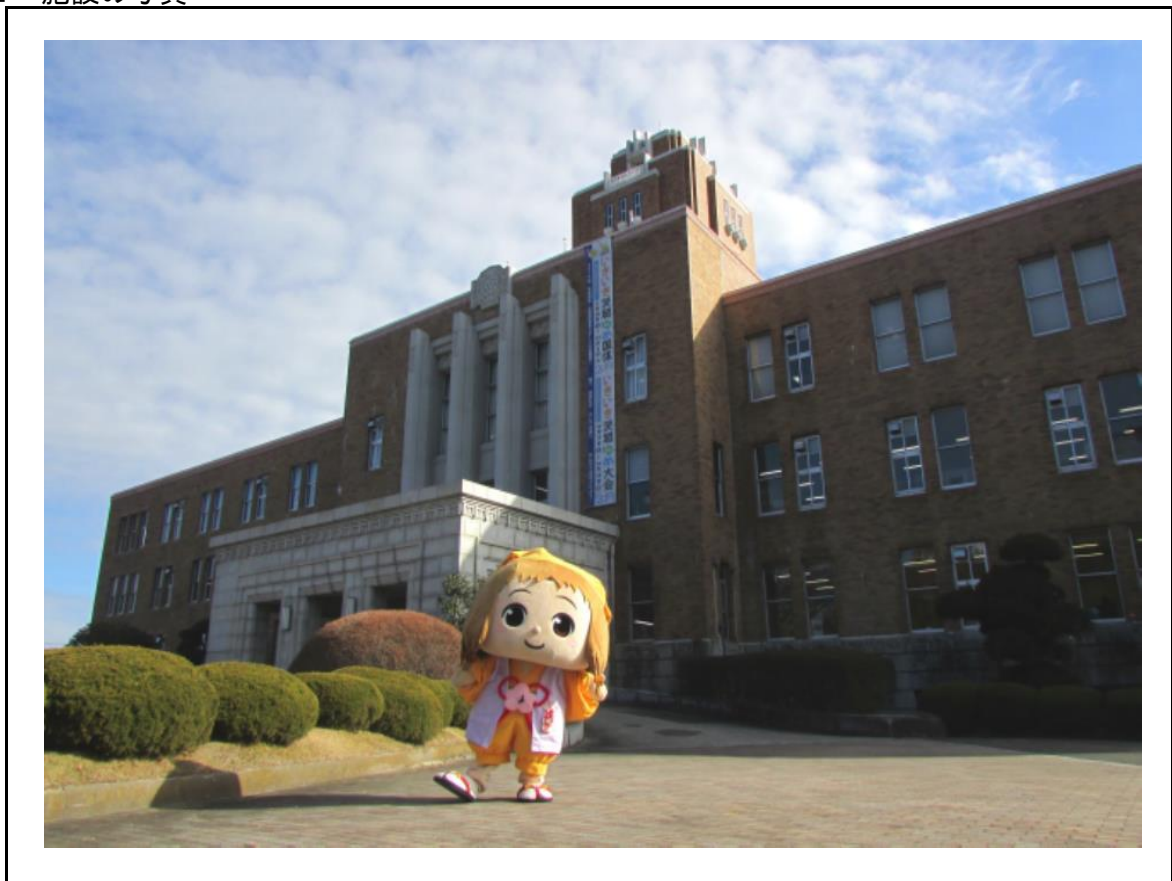
※長寿命化の推進、資産総量の適正化、資産の有効活用の観点から記載すること。

(参考)

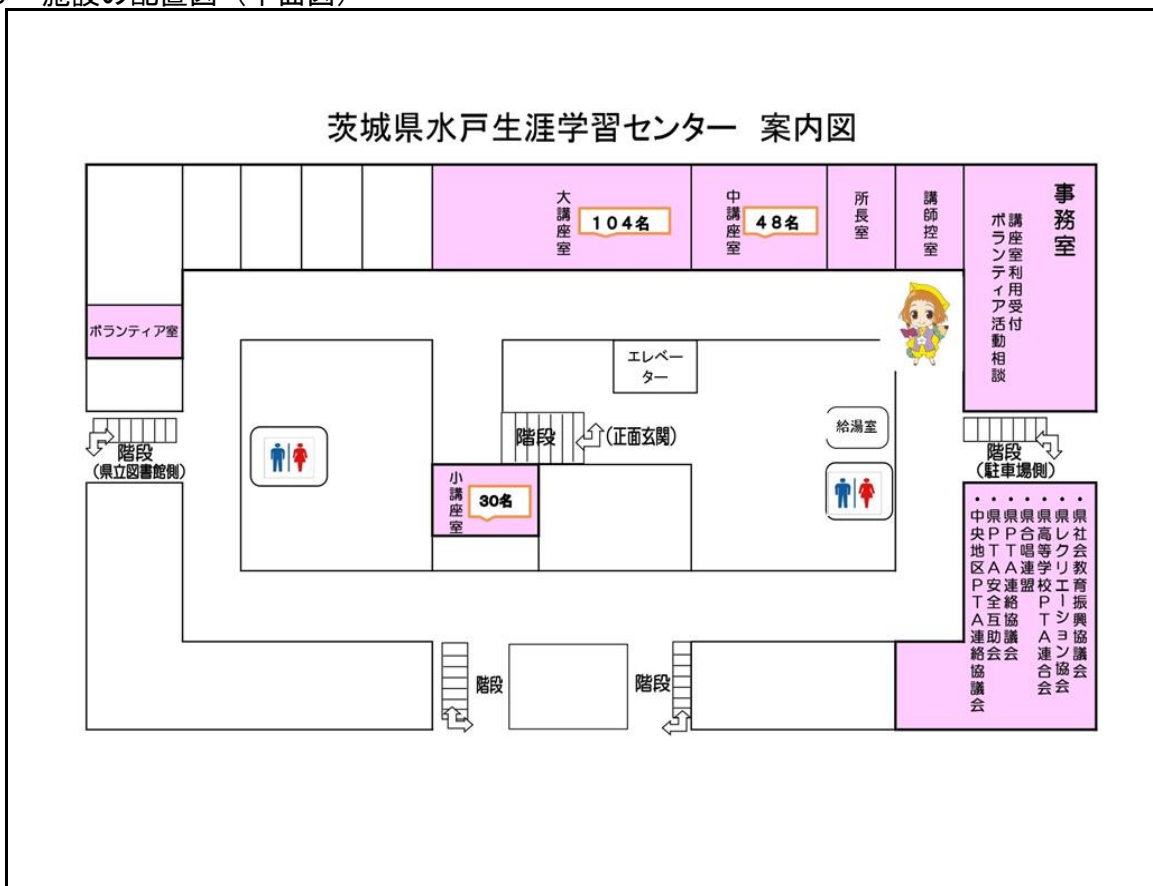
1 施設の位置図



2 施設の写真



3 施設の配置図（平面図）



公の施設等に係る運営評価等調書

施設名	県北生涯学習センター	所管課	教育庁総務企画部生涯学習課
-----	------------	-----	---------------

1 施設概要

所在地	日立市十王町友部2581	整備年月	平成18年4月
設置の根拠法令等	学校以外の教育機関の設置、管理及び職員に関する条例		
設置目的	生涯学習に関する情報、学習機会及び学習の場の提供等を行い、県民の生涯にわたる学習活動の推進に資すること。		
事業内容	生涯学習の推進に必要な事業（1）学習情報の提供（2）学習機会の提供（3）学習活動の場の提供（4）生涯学習の相談（5）上記のほか生涯学習の		
施設内容	日立市役所十王支所の一部を借用（1階の一部と2・3階全室）小講座室・中講座室・和室講座室・レッスン室・創作室・パソコン室・多目的ホール		

2 管理者

(令和5年7月1日現在)

管理区分	指定管理	管理者名	非営利活動法人インパクト
体制	11人 内訳 常勤職員	9人、非常勤職員	2人

3 利用状況

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数(人)	目標値	55,000	55,000	30,000	35,000	40,000
	実績	64,014	52,304	33,981	32,752	42,879

4 施設運営に係る事業費

(千円)

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入	指定管理料	67,976	67,976	67,901	61,550	61,550
	使用料収入	4,707	4,953	2,961	3,269	5,711
	その他	27,161	25,402	22,249	25,745	32,202
	合計①	99,844	98,331	93,111	90,564	99,463
支出	人件費	44,184	37,239	35,161	34,093	34,201
	管理運営費	19,721	25,194	20,472	20,486	23,939
	その他	30,859	31,642	29,482	29,534	35,935
	合計②	94,764	94,075	85,115	84,113	94,075
収支(①-②)		5,080	4,256	7,996	6,451	5,388

(千円)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
大規模修繕費	-	-	-	-	-

※10,000千円以上の修繕費

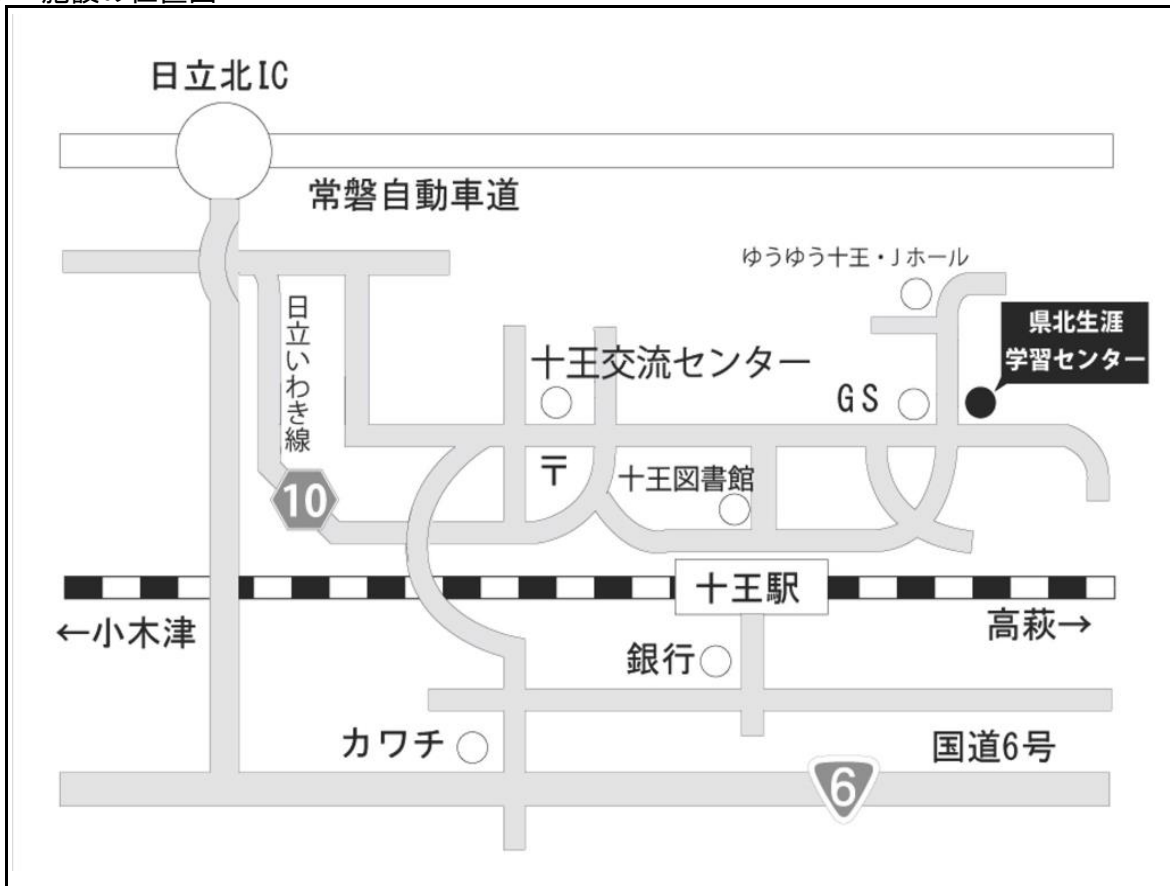
5 運営上の課題と対応

課題	対応
<p>○令和3年度から、現代的・地域課題に特化した事業を展開しており、引き続き、現在の事業を深化させつつ、生涯学習センターが地域の活動拠点として社会教育人材と地域社会の担い手の育成に大きな役割を果たすことが求められる。</p> <p>○施設により維持管理コストに差があることから、各地域での生涯学習提供機能は維持しつつ、効率的・適正な運営により、コスト縮減を図る必要がある。</p>	<p>○現行の管理手法での施設運営により合理化を図る。</p> <p>○県民の生涯にわたる学習活動を推進するとともに、現代的・地域課題解決に資する事業を通じ、地域課題に自発的に取り組む人財の育成や地域の活動拠点として一定の成果を挙げてきており、効率的・適正な運営によりコスト縮減を図る。</p>

※長寿命化の推進、資産総量の適正化、資産の有効活用の観点から記載すること。

(参考)

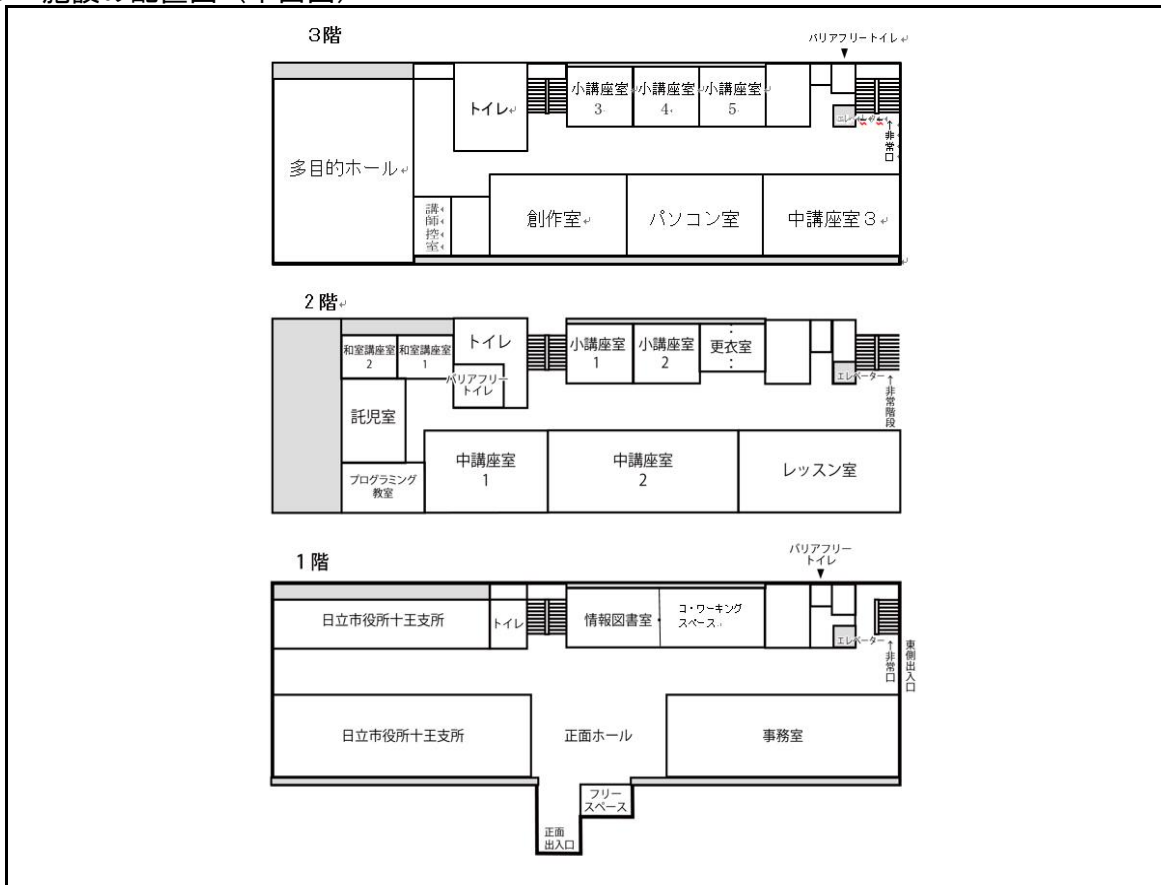
1 施設の位置図



2 施設の写真



3 施設の配置図（平面図）



公の施設等に係る運営評価等調書

施設名	鹿行生涯学習センター	所管課	教育庁総務企画部生涯学習課
-----	------------	-----	---------------

1 施設概要

所在地	行方市宇崎1389	整備年月	平成9年4月
設置の根拠法令等	学校以外の教育機関の設置、管理及び職員に関する条例		
設置目的	生涯学習に関する情報、学習機会及び学習の場の提供等を行い、県民の生涯にわたる学習活動の推進に資すること。		
事業内容	生涯学習の推進に必要な事業（1）学習情報の提供（2）学習機会の提供（3）学習活動の場の提供（4）生涯学習の相談（5）上記のほか生涯学習の推進に必要な事業		
施設内容	鉄筋コンクリート4階建瓦葺 大研修室、中研修室、小研修室、音楽視聴覚室、美術工芸室、トレーニング室、講座室、和室研修室、多目的ホール、ホール控室、コワーキングスペース、会議室、託児室、保健室、売店、更衣室、談話室、和室宿泊室、洋室宿泊室、大浴場、小浴場		

2 管理者

(令和5年7月1日現在)

管理区分	指定管理	管理者名	公益財団法人茨城県教育財団
体制	16人 内訳	常勤職員	5人、非常勤職員 11人

3 利用状況

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数(人)	目標値	77,700	78,600	79,600	28,000	51,400
	実績	104,594	84,493	36,060	45,094	53,218

4 施設運営に係る事業費

(千円)

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入	指定管理料	162,317	165,816	153,028	139,525	140,162
	使用料収入	10,347	8,678	2,951	3,201	6,160
	その他	1,691	1,657	1,925	1,675	2,813
	合計①	174,355	176,151	157,904	144,401	149,135
支出	人件費	37,168	43,714	49,650	59,658	71,138
	管理運営費	115,251	117,071	101,463	72,483	70,069
	その他	17,240	13,369	7,241	6,075	7,073
	合計②	169,659	174,154	158,354	138,216	148,280
収支(①-②)		4,696	1,997	△450	6,185	855

(千円)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
大規模修繕費	11,416	17,754	-	17,380	-

※10,000千円以上の修繕費

5 運営上の課題と対応

課題	対応
<p>○令和3年度から、現代的・地域課題に特化した事業を展開しており、引き続き、現在の事業を深化させつつ、生涯学習センターが地域の活動拠点として社会教育人材と地域社会の担い手の育成に大きな役割を果たすことが求められる。</p> <p>○施設により維持管理コストに差があることから、各地域での生涯学習提供機能は維持しつつ、効率的・適正な運営により、コスト削減を図る必要がある。</p>	<p>○現行の管理手法での施設運営により合理化を図る。</p> <p>○県民の生涯にわたる学習活動を推進するとともに、現代的・地域課題解決に資する事業を通じ、地域課題に自発的に取り組む人材の育成や地域の活動拠点として一定の成果を挙げてきており、効率的・適正な運営によりコスト削減を図る。</p>

※長寿命化の推進、資産総量の適正化、資産の有効活用の観点から記載すること。

(参考)

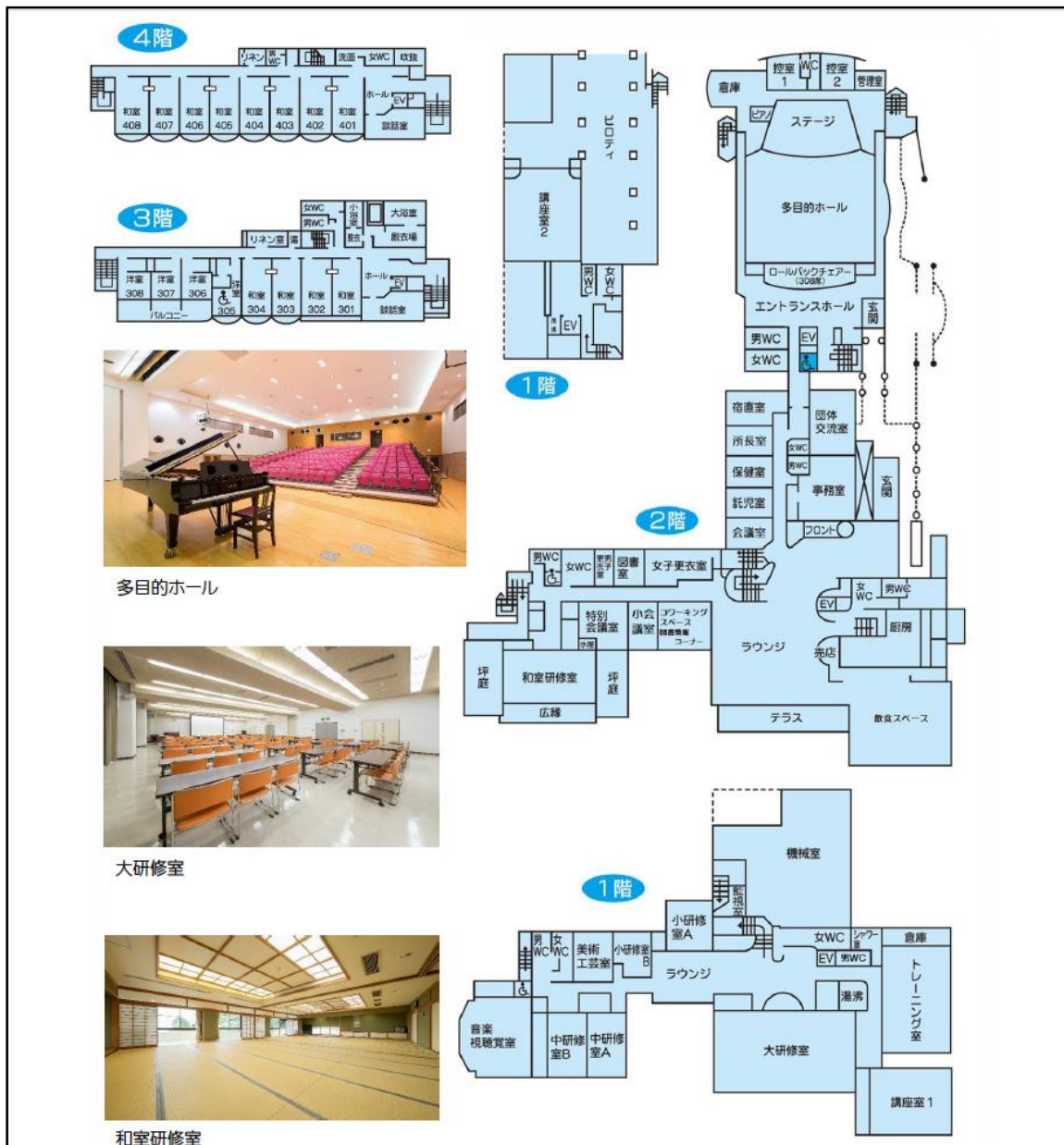
1 施設の位置図



2 施設の写真



3 施設の配置図（平面図）



公の施設等に係る運営評価等調書

施設名	県南生涯学習センター	所管課	教育庁総務企画部生涯学習課
-----	------------	-----	---------------

1 施設概要

所在地	土浦市大和町9-1 ウララビル5階	整備年月	平成9年10月
設置の根拠法令等	学校以外の教育機関の設置、管理及び職員に関する条例		
設置目的	生涯学習に関する情報、学習機会及び学習の場の提供、調査研究等を行い、県民の生涯にわたる学習活動の推進に資すること		
事業内容	生涯学習の推進に必要な事業（1）学習情報の提供（2）学習機会の提供（3）学習活動の場の提供（4）生涯学習の相談（5）上記のほか生涯学習の推進に必要な事業		
施設内容	多目的ホール、小・中講座室、和室講座室、音楽室、創作室、軽運動室、情報図書コーナー、ボランティア室、託児室、コワーキングスペース		

2 管理者

(令和5年7月1日現在)

管理区分	指定管理	管理者名	特定非営利活動法人ひと・まちなつとわーく
体制	14人 内訳	常勤職員	10人、非常勤職員 4人

3 利用状況

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数(人)	目標値	274,000	276,000	278,000	150,000	100,000
	実績	148,502	152,430	49,366	54,821	83,345

4 施設運営に係る事業費

(千円)

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入	指定管理料	149,040	143,829	143,095	126,443	126,455
	使用料収入	11,059	11,502	6,255	7,894	10,790
	その他	5,355	5,973	2,943	3,000	2,975
	合計①	165,454	161,304	152,293	137,337	140,220
支出	人件費	60,711	65,067	55,113	45,520	50,648
	管理運営費	53,318	49,465	51,553	49,914	53,617
	その他	38,039	35,175	29,560	29,684	30,978
	合計②	152,068	149,707	136,226	125,118	135,243
収支(①-②)		13,386	11,597	16,067	12,219	4,977

(千円)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
大規模修繕費	-	-	-	-	-

※10,000千円以上の修繕費

5 運営上の課題と対応

課題	対応
<p>○令和3年度から、現代的・地域課題に特化した事業を展開しており、引き続き、現在の事業を深化させつつ、生涯学習センターが地域の活動拠点として社会教育人材と地域社会の担い手の育成に大きな役割を果たすことが求められる。</p> <p>○施設により維持管理コストに差があることから、各地域での生涯学習提供機能は維持しつつ、効率的・適正な運営により、コスト削減を図る必要がある。</p>	<p>○現行の管理手法での施設運営により合理化を図る。</p> <p>○県民の生涯にわたる学習活動を推進するとともに、現代的・地域課題解決に資する事業を通じ、地域課題に自発的に取り組む人材の育成や地域の活動拠点として一定の成果を挙げてきており、効率的・適正な運営によりコスト削減を図る。</p>

※長寿命化の推進、資産総量の適正化、資産の有効活用の観点から記載すること。

(参考)

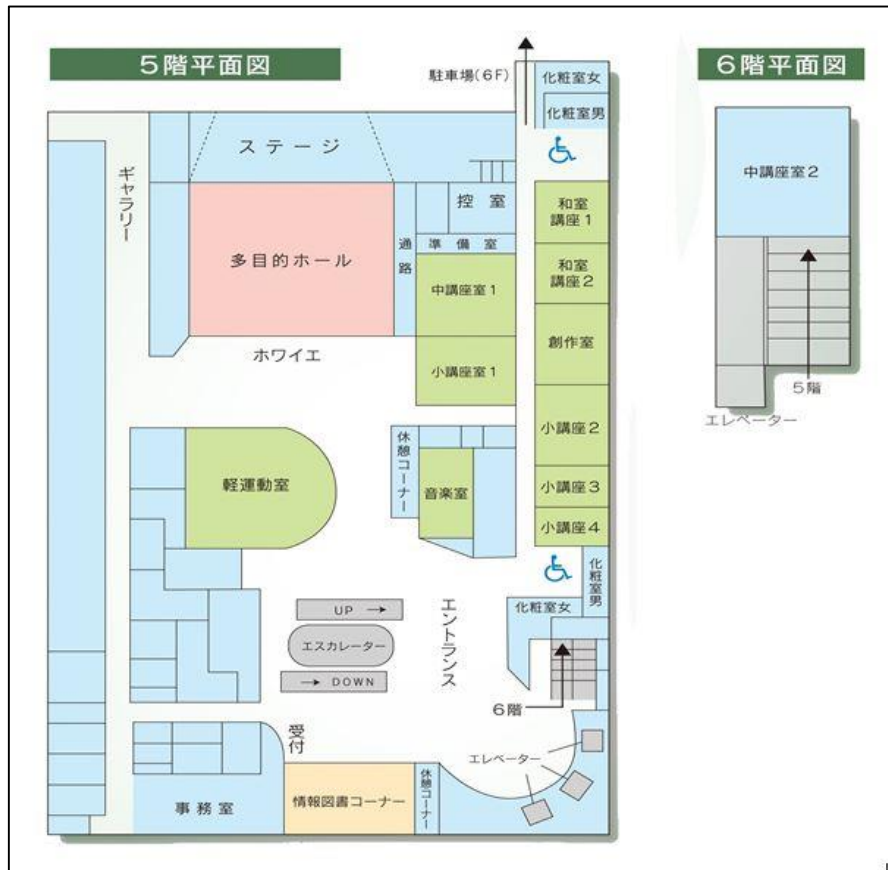
1 施設の位置図



2 施設の写真



3 施設の配置図（平面図）



公の施設等に係る運営評価等調書

施設名	県西生涯学習センター	所管課	教育庁総務企画部生涯学習課
-----	------------	-----	---------------

1 施設概要

所在地	筑西市野殿1371	整備年月	平成6年11月
設置の根拠法令等	学校以外の教育機関の設置、管理及び職員に関する条例		
設置目的	生涯学習に関する情報、学習機会及び学習の場の提供、調査研究等を行い、県民の生涯にわたる学習活動の推進に資すること		
事業内容	生涯学習の推進に必要な事業（1）学習情報の提供（2）学習機会の提供（3）学習活動の場の提供（4）生涯学習の相談（5）上記のほか生涯学習の推進に必要な事業		
施設内容	多目的ホール、小・中講座室、レッスン室、和室研修室、創作室、会議室、情報図書コーナー、ボランティア室、託児室、コワーキングスペース、野外ステージ、芝生広場		

2 管理者

(令和5年7月1日現在)

管理区分	指定管理	管理者名	非営利法人日本スポーツ振興協会
体制	17人 内訳	常勤職員	9人、非常勤職員 8人

3 利用状況

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数(人)	目標値	171,000	171,500	172,000	96,000	97,000
	実績	170,530	121,964	52,419	66,609	100,167

4 施設運営に係る事業費

(千円)

		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
収入	指定管理料	136,359	136,359	136,359	119,679	119,679
	使用料収入	8,215	7,502	3,578	4,786	6,777
	その他	5,064	5,933	5,904	7,334	11,967
	合計①	149,638	149,794	145,841	131,799	138,423
支出	人件費	61,069	58,608	55,614	59,369	57,947
	管理運営費	64,326	66,319	65,361	58,310	62,110
	その他	23,740	24,636	24,366	13,747	17,829
	合計②	149,135	149,563	145,341	131,426	137,886
収支(①-②)		503	231	500	373	537

(千円)

	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
大規模修繕費	-	-	-	-	-

※10,000千円以上の修繕費

5 運営上の課題と対応

課題	対応
<p>○令和3年度から、現代的・地域課題に特化した事業を展開しており、引き続き、現在の事業を深化させつつ、生涯学習センターが地域の活動拠点として社会教育人材と地域社会の担い手の育成に大きな役割を果たすことが求められる。</p> <p>○施設により維持管理コストに差があることから、各地域での生涯学習提供機能は維持しつつ、効率的・適正な運営により、コスト削減を図る必要がある。</p>	<p>○現行の管理手法での施設運営により合理化を図る。</p> <p>○県民の生涯にわたる学習活動を推進するとともに、現代的・地域課題解決に資する事業を通じ、地域課題に自発的に取り組む人材の育成や地域の活動拠点として一定の成果を挙げてきており、効率的・適正な運営によりコスト削減を図る。</p>

※長寿命化の推進、資産総量の適正化、資産の有効活用の観点から記載すること。

(参考)

1 施設の位置図



2 施設の写真



